

三菱自動車、能登半島地震の支援の一環で、日本カーシェアリング協会に軽商用車『ミニキャブトラック』を寄贈

令和6年能登半島地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄）は、令和6年能登半島地震の被災地支援の一環として、被災された方々や支援団体を対象に車の無償貸出支援活動を行う「一般社団法人 日本カーシェアリング協会（代表理事：吉澤 武彦）」に軽商用車『ミニキャブトラック』を3台寄贈しました。



軽商用車『ミニキャブトラック』

日本カーシェアリング協会は、東日本大震災をきっかけに、寄付で集めた車を活用した支え合いの仕組みづくりをミッションとして、宮城県石巻市で設立されました。当社は2013年にも電気自動車『アイ・ミーブ』を同協会へ寄贈しており、電気自動車を活用した防災の取り組みを広める活動に協力しています。能登半島地震の被災地では、支援車両が不足しており、被災地域の属する石川県からも協力依頼があったことから、寄贈に至りました。

軽商用車『ミニキャブトラック』は、広い荷台と低い荷台床面地上高を併せ持ち、作業効率が高く、悪路での走破性、積載時の重量バランスにも優れています。寄贈された車両は、被災後の瓦礫等の片付けや、被災者の転居の際の運搬などに活用される予定です。

当社は、能登半島地震の被災地支援として、今回の車両寄贈のほかに新潟県・富山県・石川県・福井県4県下の新車販売店舗における「急速充電の無料利用サービス」並びに「スマートフォンへの無料充電サービス」（ともに24年3月末まで）の実施や、石川県珠洲市に対して『アウトランダーPHEV』『トライトン』『デリカD:5』の無償貸与などを行っています。今後も自治体の要望や被災地のニーズに応じて支援を行うと共に、被災地域の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

以 上